

〔実践事例4〕

単元名

投書で自分の思いを伝えよう ―受け継がれる佐賀の伝統―

■ 身に付けさせたい力（指導事項）

文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。
（読むこと エ）

■ 教材

「白川郷―受け継がれる合掌造り」 NHK「世界遺産プロジェクト」（東京書籍2年）

■ 言語活動

本単元では『中学校学習指導要領解説国語編』第2学年「C読むこと」の言語活動例の「イ説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」を参考にして、伝統を受け継ぐことについて、複数の資料から集めた情報を基に自分の考えを新聞の投書欄のように書くという言語活動を位置付けました。この言語活動を通して、複数の資料を読み、伝統を受け継ぐことについての自分の立場を明確に示して、自分の考えをまとめることを指導します。

授業改善策の提案

授業改善の柱1

単元を通して生徒が自律的に学習を進めることができる学習課題の設定

■ 単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導



■ 3フレーズ（指導事項・思考操作・言語活動）の学習課題でつくる見通しのある単元構想

本単元では、伝統を受け継ぐことの難しさが書かれた教材文を読み、伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつことをねらいとしています。そのために、関連する複数の資料から情報を集め、観点に基づいて整理して比較させることで、自分の考えをもつことにつながります。新聞の投書欄の形式で書かれた文章を示し、言語活動のモデルとして学習の見通しをもたせます。また、新聞の投書の文章は、内容を読み取る観点をつかませることに活用します。

《単元の学習課題》

指導事項 伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつために、
思考操作 「白川郷―受け継がれる合掌造り」と複数の資料の情報を整理し比較して、

・・・〔身に付けさせたい思考力 ①比較・分類〕

言語活動 新聞の投書欄のように書く。

単元構想具体化のポイント

・複数教材を用いた指導…「新聞の投書記事」、「伝統や文化を受け継ぐことに関連する資料」

新聞の投書記事をモデルにして自分の考えをまとめさせます。そこで、書かれている内容を理解させるために、5つの観点（①現状・説明、②理由、③問題点、④改善点、⑤まとめ）で分析的に読ませます。この観点が、教材文や関連する複数の資料を読む観点になります。

・条件設定を明確にした指導…「自分の立場を示す」、「反対意見を想定して書く」

自分の考えを書く際には、「自分の立場を示す」、「反対意見を想定して書く」という2つの条件を提示しました。示されている条件に沿って書くことを意識させるとともに、示された条件が自分の考えをもたせることの助けになると考えます。

授業改善の柱2

生徒の思考に沿った
ワークシートの工夫

■文章を読む視点を基に
分析的に読ませる指導

↓

■思考ツールを活用した
ワークシートの工夫

5つの観点（①現状・説明、②理由、③問題点、④改善点、⑤まとめ）を示した思考ツール（問題解決ボックス）を活用し、教材文や関連する資料の内容を捉えさせます。また、同じ観点で複数の資料から得た情報を整理することで、伝統を受け継ぐことについて様々な考えを比較させて自分の考えをもつことができますようにします。

教材文を読み、内容を整理するためのワークシート（2／7時）

単元の目標

伝統を受け継ぐことについて、関連する資料から情報を集めて比較し、自分の考えをもつことができる。

単元の学習課題

指導事項 伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつために、

思考操作 「白川郷ー受け継がれる合掌造り」と複数の資料の情報を整理し比較して、
 ・ ・ ・〔身に付けさせたい思考力 ①比較・分類〕

言語活動 新聞の投書欄のように書く。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 伝統を受け継ぐことについて関心をもち、新聞の投書欄のように書くために、複数の資料から情報を集めようとしている。 ② 集めた情報を整理するために積極的に話し合っている。	① 伝統を受け継ぐことについて5つの観点で情報を整理し、文章に示されている考え方を理解している。(エ) ② 伝統を受け継ぐことについて、複数の資料から得た情報を基に自分の考えをもっている。(エ)	① 相手や目的に応じて話や文章の展開に違いがあることを理解する。(イ(オ))

単元の授業過程（全7時間）

WS…ワークシート

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法	単元のねらいと本時の関わり
第一次（導入）	1	1 失われそうになっている「伝統」についての映像を見る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつことを伝え、学習の動機付けを行う。単元の最後に佐賀で失われそうになっている伝統（むつかけ漁、高志狂言）について新聞の投書の形式で自分の考えを書くことを知らせ、学習の見通しをもたせる。 <p style="text-align: center;">授業改善の柱1</p>	<p>〔関・意・態①〕</p> <p>伝統を受け継ぐことについて考え、自分の考えをもつことに興味をもち、学習の見通しをもとうとしている。</p> <p>【観察】【学習計画表】</p> <p>〔読①〕</p> <p>投書の内容を5つの観点で分類し理解している。</p> <p>【WS①：新聞の投書記事のモデル】</p>	<p>伝統を受け継ぐということに焦点を当てるために、失われそうになっている伝統について、その現状を知り、伝統や文化について興味をもたせ、学習へ誘います。</p> <p>投書は自分の意見や希望を新聞に載せてもらうものであり、自分の考えを他の人に伝える方法の一つです。その投書がどのような内容で構成されているのかを捉えさせて、意見がどのように表現されているのかをつかませます。</p> <p>自分の考えをもつことが最終目標であり、自分の考えをもつとは、どうということなのかを理解させる導入を図ります。</p>
		<p>2 学習課題、学習計画を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習課題 伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつために、「白川郷—受け継がれる合掌造り」と複数の資料の情報を整理し比較して、新聞の投書欄のように書く</p> </div>			
		4 一通の投書がきっかけで伝統が守られた例を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投書やドキュメンタリーは筆者が伝えたいことを伝えていることを伝える。ドキュメンタリーの特徴（事実を淡々と伝える、映像の挿入、インタビューなど）を押さえる。 		
		5 教材文を読む。			

第二次 （展開）	2	本時の目標：「結」についての情報を5つの観点で整理しよう。	〔読①〕 5つの観点で、「結」に関する情報を分類し、筆者の考えを捉えている。 【WS②：問題解決ボックス】	あるテーマに対して、現状、良い点、問題点、改善点、意見という視点をもたせることを、自分の考えをもつという一つの型として捉えさせます。 ある事柄に対して自分の考えをもつためには、まず、その対象についての理解が必要です。そして、その対象に対して、賛成や反対の立場をとったり、問題点を指摘したり、自分の考えと比較することなどが必要になります。ここでは、5つの観点を基に文章を読み、内容を理解させます。その学習活動を繰り返すことで、文章の内容を理解させたり、自分の考えをもたせたりすることにつながります。
		6 「結」について思考ツール（問題解決ボックス）を使ってまとめる。 <div style="text-align: center; background-color: #90ee90; border-radius: 10px; padding: 2px 10px; display: inline-block; margin: 5px 0;"> 授業改善の柱2 </div>		
		7 思考ツールを使って整理した内容をグループで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで考えさせ、発表させる。 ・ 筆者の考え、「結」に関わっている人（和田さん、観光業の人など）の「結」を受け継ぐことへの立場を確認させる。 	

	<p>3 4</p>	<p>本時の目標：伝統に関して書かれた複数の資料から情報を集め、5つの観点で整理しよう。</p> <p>8 問題解決ボックスを活用して書いた、白川郷についての投書のモデル文を読み、今後の見通しをもつ。</p> <p>9 複数の資料を読み、必要な情報を集め整理する。</p> <p>① グループ内で複数の資料を分担して情報を問題解決ボックスにそれぞれ整理する。整理した情報を付箋に書く。</p> <p>② 付箋に書いた情報を、問題解決ボックスに分類して貼る。</p> <p>③ 自分が調べた情報について、グループで発表する。観点ごとに集めた情報を、共通点を見つけてまとめる。</p> <p>④ 個人のシートに必要な情報を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チャートを基にして「結」について書いた投書の例を読ませ、今後の活動の見通しをもたせる。 5つの観点を投書例に示し、観点がそのまま投書の書き方の項目になることを確認させる。 授業改善の柱2 ・学習のゴールが伝統を受け継ぐことについて自分の考えを書く学習であることを再確認する。 ・複数の資料を提示し、だいたいの内容を説明し、グループごとに選ばせる。より多くの情報を集めるように指示する。集めた情報は付箋に書いて表に貼るように指示する。一人の人が同じ色の付箋を使って5観点を書くように指示する。 ・それぞれが担当した情報をグループで共有させ、分からない点や知りたい点があれば質問するように指示する。 ・5つの観点で分類したそれぞれの情報ごとに共通点などを考え、簡潔にまとめる。 ・ワークシートに投書を書く際に利用したい情報を記入させる。 	<p>〔読①〕 複数の資料から集めた情報を5つの観点で分類し、文章に示されている内容を捉えている。 【WS③：問題解決ボックス】</p> <p>〔関・意・態②〕 集めた情報を整理し、共通点などを積極的に話し合っている。 【観察】</p>	<p style="text-align: center;">問題解決ボックスで整理した情報を基に、書かれた投書のモデルを示すことで、これから集める情報が、単元のゴールに書く投書に使えることを意識させる。</p> <p style="text-align: center;">授業改善の柱2</p> <p>複数の資料から情報を集めることで、より多くの問題点や解決方法など、自分の意見の材料が多く集まることを意識させる。</p> <p>共通点などを考えることで、個別の伝統に関することだけでなく、大きく伝統を受け継ぐことに対して、情報を捉えさせたい。</p>
--	----------------	---	---	--	---

	5 6	<p>本時の目標：伝統を受け継ぐことについて、自分の考えを投書の形式で書く。</p> <p>10 佐賀県の伝統や文化について書かれた文章の内容を問題解決ボックスを用いて整理する。</p> <p>11 伝統を受け継ぐことについて、自分の考えを投書として書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ムツかけ名人」「高志狂言」のどちらを選んで、伝統の維持保存についての考えをもたせる。 ・問題解決ボックスを活用した投書の書き方を再確認する。投書例を提示し、予想される反対意見を取り入れることや伝統を受け継ぐことに関する自分の考えを書くことを確認させる。 ・伝統を受け継ぐことへの立場をまず決めさせる。 ・改善点、まとめ（選んだ伝統文化と、伝統を受け継ぐことについて）、自分の考えへの反対意見を問題解決ボックスに書かせる。これまで、集めてきた情報も生かして、改善点などを考えるように助言する。 	<p>〔読②〕 伝統を受け継ぐことについて自分の立場を決め、必要な情報を整理して自分の考えをもっている。 【WS④：問題解決ボックス】</p>	<p>「ムツかけ漁」と「高志狂言」についての自分の意見と、伝統を受け継ぐことについての意見を書くことが自分の考えをもつことになる。</p>
第三次（終末）	7	<p>本時の目標：心に響いた投書を選ぼう。</p> <p>12 伝統を受け継ぐことについて、他の人の考えを知る。</p> <p>13 単元全体を振り返り、この単元に身に付けた力についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの投書を読み合い、伝統を受け継ぐことについて自分の考えと比較させ、考えを広げさせる。 ・心に残った投書を選ばせる。 ・選ばれた投書を紹介し、良かった点を共有する。 ・問題解決ボックスを使って情報を整理することや、自分の考えをもつことについて振り返らせて書かせる。 	<p>〔読②〕 他の人の考えに触れ、伝統を受け継ぐことについて自分の考えを深めている。 【振り返りシート】</p>	<p>他の人の意見を知ること、自分とは違った解決方法や伝統に関する意見を知り、自分の考えを広げさせます。</p> <p>自分の考えをもつための一つの方法として、情報を整理することやそれを利用することが理解できたかどうかを振り返らせる。</p> <p style="text-align: right;">授業改善の柱2</p>

授業の実際

ワークシートから見る本単元の展開

【ワークシート①：新聞の投書記事のモデル】（1／7時）

★今日の学習のまとめを書こう

★次の投書例のA～Eを①現状・説明②理由③問題点④改善点⑤まとめの5つから選んでみよう。

例①「○○○○○○○○○○○○○○○○中3年（□）新聞2016年○月

紅の松原について
（現状・説明）
紅の松原の問題点
（問題点）
紅の松原を残すための方法（工夫・改善点）
（改善点）
紅の松原を残したい理由（理由）
（理由）
投書者の意見（まとめ）

例②「○○○○○○○○○○○○○○○○中3年（□）新聞2016年○月

A（まとめ）
B（理由）
C（現状）
D（問題点）
E（まとめ）

★投書とは、意見や希望などを新聞に掲載してもらうために送ることで、またそのもの。投書には、意見や希望などを新聞に掲載してもらうために送ることで、またそのもの。

★本時のめあて、学習の見通しを持つ。投書のモデルを見て、投書の内容を理解する。

★投書に書かれている内容を理解する。

単元 集めた情報を整理し、自分の考えをまとめよう。（ ）（組）（号）名前（ ）
「白川郷」受け継がれる合掌造り「学習シート①」

投書のモデルを示し、自分の考えをどのような形式で表現するのか、単元のゴールをイメージさせ、見通しをもたせませす。

また、投書に書かれている内容を問題解決ボックスの5つの観点に分類させます。生徒は、この5つの観点（現状・説明、理由、問題点、改善点、まとめ）を基に、教材文や関連する資料を読ませます。

【ワークシート②問題解決ボックス】（2／7時）

★今日の学習のまとめを書こう

★「結」を受け継ぐことについて

① 残すことが難しい理由【問題点】

② 残すための工夫【工夫・改善点】

③ 残したい理由【理由】

④ 残すことが難しい理由【問題点】

⑤ 残すための工夫【工夫・改善点】

⑥ 残したい理由【理由】

★「結」について①「結」について「現状・説明」②「結」を残したい理由【理由】③「結」を残すことが難しい理由【問題点】④「結」を残すための工夫【工夫・改善点】⑤筆者の意見【まとめ】という5つの観点で整理し、記入する。

⑤筆者の意見【まとめ】

伝統を受け継ぐことへの筆者の立場

昔のまま 新しいことを取り入れる 受け継がない

★本時のめあて、学習の見通しを持つ。投書のモデルを見て、投書の内容を理解する。

★投書に書かれている内容を理解する。

単元 集めた情報を整理し、自分の考えをまとめよう。（ ）（組）（号）名前（ ）

問題解決ボックスを用いて、教科書の教材文を読ませます。5つの観点を基に内容を整理し、伝統を受け継ぐことについての筆者の立場と考えを捉えさせます。

【ワークシート④問題解決ボックス】（5／7時）

★今日の学習のまとめを書こう

★「結」を受け継ぐことについて

① 残すことが難しい理由【問題点】

② 残すための工夫【工夫・改善点】

③ 残したい理由【理由】

④ 残すことが難しい理由【問題点】

⑤ 残すための工夫【工夫・改善点】

⑥ 残したい理由【理由】

★「結」について①「結」について「現状・説明」②「結」を残したい理由【理由】③「結」を残すことが難しい理由【問題点】④「結」を残すための工夫【工夫・改善点】⑤筆者の意見【まとめ】という5つの観点で整理し、記入する。

⑤筆者の意見【まとめ】

伝統を受け継ぐことへの自分の筆者の立場

昔のまま 新しいことを取り入れる 受け継がない

⑤自分の考え【まとめ】

⑥伝統を受け継ぐことについての自分の考え

予想される反対意見

★本時のめあて、学習の見通しを持つ。投書のモデルを見て、投書の内容を理解する。

★投書に書かれている内容を理解する。

単元 集めた情報を整理し、自分の考えをまとめよう。（ ）（組）（号）名前（ ）

関連する資料を基にして自分の考えをまとめる際にも問題解決ボックスを用います。また、3、4時目に複数の資料から情報を集め情報を整理する際にも、個人用、グループ用の同様のワークシートを使用します。

検証授業を振り返って

授業改善の柱1

■単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導

本単元で、生徒は伝統・文化の維持・保存に関する文章を読みました。単元の導入で「伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつ」こと、「複数の資料から情報を集め、自分の考えを新聞の投書の形式で書く」という学習課題を設定したことで、生徒は、単元を通して身に付ける力と単元のゴールでの表現活動について見通しをもつことができました。教科書の教材文、関連する資料を読む時間は、単元の中でそれぞれ1時間ですが、生徒は課題を解決するために内容の理解に努めました。

■3フレーズ（指導事項・思考操作・言語活動）の学習課題でつくる見通しのある単元構想

学習課題には、指導事項、言語活動とともに、「複数の資料の情報を整理する」という思考操作を示しました。複数の資料から得た情報を整理し、自分の考えをもつための「考える方法」を具体的に示すことができました。単元の目標に対して、毎時間の学習活動がどのように生かされるのかを確認しながら学習を進めることで、「単元を通して学ぶ」ことを教師、生徒共に意識することができました。

授業改善の柱2

■文章を読む視点を基に分析的に読ませる指導

単元の導入で、新聞の投書の文章に書かれている情報を5つの観点で整理しました。単元を通して、この5つの観点を文章を読む視点として生徒にもたせました。生徒は5つの観点を基にして文章全体を通して読み、分析的な視点をもって内容の理解に努めることができました。この5つの視点は文章の構成をつかませることにもつながりました。

また、文章を読むことを苦手としている生徒も共通する視点で繰り返し文章を読むことで、学習の方法を理解し、見通しをもって新聞の投書、教材文、関連する資料を読み進めることができました。

■思考ツールを活用したワークシートの工夫

5つの観点で構成した思考ツール（問題解決ボックス）を用いてワークシートを作成しました。複数の文章を読んで内容を整理する際に、共通した思考ツールを繰り返し用いることで、情報を整理しながら分析的に読むという思考法を生徒にもたせることができました。思考ツールを活用したワークシートを作成する際には、授業中の板書でどのように再現するのかということを意識して、生徒の思考に沿うように準備することも必要です。

資料1 問題解決ボックスを活用した情報の整理

問題解決ボックスを活用して情報の整理を行った生徒の記述（資料1）と、それを基に自分の考えをまとめた生徒の記述（資料2）です（ワークシート④ 5/7時）。

資料2 情報の整理を基に自分の考えをまとめた生徒の記述

評価による学習の振り返り

《振り返りシートによる自己評価》

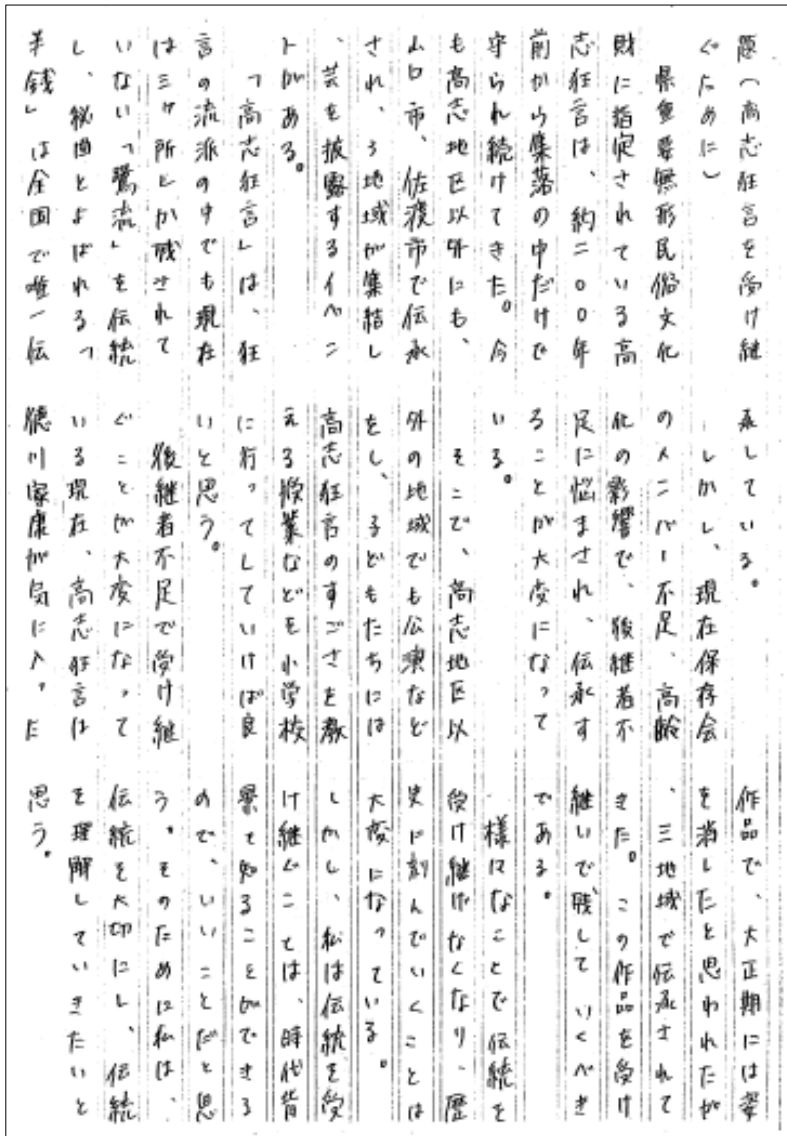
単元の学習を振り返り、「振り返りシート」による自己評価（A、B、C）を行いました。その結果、次の項目について、「よくできた（A）」と回答した生徒は以下のとおりでした。（対象 34人）

- ・「複数の資料を使って調べること」・・・67.6%
- ・「伝統を受け継ぐことについて自分の考えをもつこと」・・・67.6%
- ・投書の形式で自分の考えを書くこと・・・76.5%

また、「できなかった（C）」と評価した生徒はいませんでした。このように、生徒が意欲的に学習を進めた結果、伝統を受け継ぐことについて、全員が自分の考えを投書の形式（540字）でまとめることができました。生徒が書いた文章を見ると、約半数の生徒が複数の資料から得た情報を基に、提案性のある独自の考えを根拠と共に書くことができました。このことから、本単元での手立てが有効に働いたと考えます。以下は、単元の学習を振り返った生徒の振り返りシートの記述です。

- ・少し見方を変えてみると、新しい発見があるということが分かった。また、人の意見を聞いてみても自分の考えを広げることができると思った。
- ・あることを知ったとき、それに対しての自分の意見を人の考えを借りて書くことができるようになった。

資料3 振り返りシートの生徒の記述



資料4 投書の形式をモデルに自分の考えをまとめた生徒の記述（ママ）